

第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）に関する意見交換会 開催結果（モデル事業の対象施設に係る部分を抜粋）

1 開催概要

	開催日時（各日120分）	場所	参加者数
1	平成26年6月22日（日） 午後2時	中央文化センター 第1講堂	8名
2	6月28日（土） 午後6時	西府文化センター 講堂	4名
3	7月 9日（水） 午後6時30分	白糸台文化センター 講堂	5名
		計3か所	17名

2 参加者からの主な質問・意見及び市の説明（意見のみの場合などは市の説明欄は斜線で表記）

※実施順

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
1	中央文化センター	府中グリーンプラザや府中の森芸術劇場の運営及び管理の状態が悪い。受付の対応や企画の質などについてである。 <u>指定管理者は、言われた内容をこなせば良いと考えているように感じる。</u>	
2	中央文化センター	資料では、市民1人当たりの延床面積は、 <u>2.54㎡</u> とあるが、以前の資料では別の数字が示されていた。第6次総合計画では、平成29年度まで現状値を維持するという目標も掲げられているので、その現状値とはどの数字が明確にしてほしい。	<u>市民1人当たり2.54㎡という数字は、平成24年度末時点の値である。</u> 一方、第6次府中市総合計画前期基本計画では、平成23年度末の値である2.51㎡を現状値として定めているので、 <u>平成29年度末の目標値も2.51㎡</u> ということになる。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
3	中央文化センター	南口再開発事業のビルの中にもホールが整備されるようだが、稼働率の低いホールを備えているグリーンプラザを廃止した場合や、 <u>施設の集約をした場合の効果額が明らかになっていない。</u>	推進プラン案は、今後議論を重ねる材料として施設の検討の方向性やスケジュールを示すものなので、廃止するかどうかもまだ決まっていない。 <u>今後の具体的な検討の段階において、それら資料を提示し、検討していきたい。</u>
4	中央文化センター	<u>新たに府中駅前にホールが整備されるということであるが、それは府中グリーンプラザの廃止が前提として計画されているものなのか。</u>	新たなホールの計画については、 <u>府中グリーンプラザの廃止を前提としたものではなく、それぞれ異なる目的を持ったホールとして位置付け、計画したものである。</u> しかし、市内にはこれらホールのほかにも、各所にホール機能が存在している状況であり、 <u>ここで改めて、公共施設マネジメントの視点にもあるように、建物ではなく機能に着目してサービスの提供が可能かどうか、検討していくものである。</u>
5	西府文化センター	府中グリーンプラザの老朽化が進んでおり、 <u>仮に民間事業者に譲渡する場合、市で老朽化した部分の修繕を行ってから渡すのか、それとも民間に渡った後に修繕となるのか。</u>	建築後まもなく35年を迎える府中グリーンプラザについて、民間事業者に修繕を行ってもらう場合、そのコストも考慮しなくてはならない。 <u>今後の検討において、施設に関するニーズや民間事業者の意向などを調べ、実現性の高い手法は何か、精査していく必要がある。</u>
6	西府文化センター	<u>市の方がより明確に方向性を示し、遠慮なくリーダーシップを取ってよい。</u> 府中市は、府中グリーンプラザ、中央文化センター、生涯学習センターと類似した用途の施設を抱えている。府中グリーンプラザの売却も1つの方法だし、維持していきたいというのなら、貸館に徹するぐらい目的をハッキリとした方がよい。	

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
7	白糸台 文化センター	<u>学校を一般に開放するというのは、子どもを持つ身としては心配である。</u> もちろん子どもに温かい目を向けてくださる方々はあると思うが、不審者情報が多く出ていると、一般開放というのは不安要素である。	子どもたちの授業時間と一緒に、一般の方が施設を使うものではない。 <u>現在の校庭などの一般開放と同様に、教育施設としての学校利用を前提としたうえで、空いている時期、時間帯に更なる活用を図り、地域の施設としての役割を高めていく取組である。</u>
8	白糸台 文化センター	<u>学校のプールと地域プールは役割が全く異なっている。</u> 学校プールを一般の方に開放した場合、それでは夏休みの間に泳げない子を指導する機会を奪ってしまうのではないか。また、学校の先生が水泳を指導するという点で、教育面でも大きな役割を学校プールは担っているので、プールの一般開放については、先生方とも十分に協議したうえでなければ検討の方向性として設定することはおかしい。	学校プールと一般のプールの役割は違うという考え方は理解できるが、他市の動向を見本とすることなく、 <u>検討の幅を狭めてはならない。</u> これまで府中市で実施していないことであっても、 <u>新たな視点を持って様々な検討を重ねる時期であると考えている。</u> また、事前に協議をしてからでないと検討もできないということではなく、 <u>検討段階から関係者も含め多くの方々にその取組を知っていただくため、検討の方向性を策定した。</u>

注：文中の下線は事務局が記載